

# ハンドボール No.84



社会人  
 学生  
 高専  
 高体連  
 中体連  
 小学生  
 県協会

全国大会  
 ブロック大会  
 都道府県大会  
 地区大会

男子  
 女子

試合番号 **山鹿-男21**

年月日 **2019年8月5日(月)**  
 大会名 **令和元年度全国高等学校総合体育大会ハンドボール競技大会**

## 公式記録用紙

A	熊本市立千原台高等学校										県立岩国工業高等学校										B
都道府県 熊本県		市町村 山鹿市				会場 山鹿市総合体育館										回戦 2回戦					
前半	A 10	B 16	最終結果	A 20	B 29	第1延長	A	B	第2延長	A	B	7m追加 3分	A	B							
7m得点/総数	A 0/0		チームタイムアウト 1 0521 2 後半 0916 3			チームタイムアウト 1 1040 2 後半 1608 3			B 2/2		7m得点/総数										
No.	熊本市立千原台高等学校						No.	県立岩国工業高等学校													
	G	W	2'	2'	D	DR		G	W	2'	2'	D	DR								
1	杉野 壮一朗						1	岡村 隆広													
2 C	宮城 琉樹						2	近藤 アレキサンダー 偉一郎													
3	萩尾 尚史						3 C	松本 大昌													
4	成田 圭吾						4	篠川 太希													
5	古閑 太一						5	今重 聡真													
6	本崎 天						6	横田 大和													
7	杉本 和人						7	姉ヶ山 京													
8	神田 京太郎						8	野々下 敦己													
9	中島 尋人						9	近藤 ダノバン 優一郎													
10	入江 蓮						10	梅岡 大祐													
11	高野 翔						11	松本 頼雅													
12	須山 虎次郎						12	藤島 大和													
13	酒井 響						13	北風 凌雅													
16	江藤 優志						14	田丸 聖悟													
役員A	嘉古田 奨吾						役員A	倉谷 康彦													
役員B	西山 悠一郎						役員B	田中 雄													
役員C	元田 雄己						役員C	國吉 亮平													
役員D							役員D														

A **嘉古田 奨吾** チーム役員A署名 **〈CFにサイン〉** B

レフェリー	北羅 雅士	藤本 貴啓	水谷 博士	藤本 貴啓
TD	平井 徳尚	久保野 弘光	平井 俊成	久保野 弘光
MO				

得点(G),警告(W),退場(2),失格(D),報告書付き失格(DR)特記事項に報告書として内容を記入



# ハンドボール No.86

令和元年度全国高等学校総合体育大会  
高松宮記念杯第70回全日本高等学校ハンドボール選手権大会

## 戦評

開催日	2019年 8月 5日 月曜
会場	山鹿市総合体育館
種別	男子
回戦	2回戦

スコア	チーム名	総得点	前半	総得点	チーム名
		千原台	20	10-16	29
	後半				
	10-13				
	第1延長		第2延長		7MC
	—		—		—
	—		—		—

※第1延長・第2延長及び7MCの得点は総得点に加算してください。

戦評	前半	<p>まずは、千原台GK杉野のファインセーブ。千原台萩尾のフェイントからのシュートに対し、岩国工業キャプテン松本が2連続カットインで応戦。さらに田丸の速攻や梅岡のミドルシュートで加点し、5分経過で5-2で岩国工業がリード。千原台のタイムアウト後、杉本のミドルシュート、神田のポストシュートで追い上げ、5-5の同点になったところで岩国工業がタイムアウト。タイムアウト後の10分間は岩国工業が姉ヶ山や田丸らの速攻、サイドシュート、ロングシュートで6得点、千原台は宮城や萩尾らの速攻で3得点。終盤は、千原台の退場もあり、さらに岩国工業松本の7mT、野々下らが速攻で着実に得点。千原台は、萩尾の連続得点で追い上げるも、前半は16-10で岩国工業がリードして折り返した。</p>
	後半	<p>千原台GK杉野、岩国工業GK岡村のファインセーブで試合が動き出した。後半の初得点は千原台杉本のミドルシュート。お互い厳しいディフェンスの中にも加点していく中、岩国工業野々下が連続してサイドとポストからのループシュートを決め、今試合最大得点差8点となったところで千原台がタイムアウト。その後は、岩国工業の激しく動いて、力強く、厳しいマンマークに、千原台古閑や杉本らのミドルシュートで加点。対して岩国工業のオフenseは、スピードのある走りから鋭くカットインする攻撃を中心に、キャプテン松本は11点を挙げる活躍を見せた。両チームのGKはゲームを引き締めるファインセーブを連発し、コートプレーヤーのスピードに乗った走りは終始観衆を魅了した。29-20で岩国工業が勝利した。</p>

記入者

野口 浩司